

第2期つくば市まち・ひと・しごと創生 総合戦略（次期戦略プラン）について

令和元年（2019年）10月1日
つくば市 企画経営課



I 未来構想・戦略プラン改定作業の進捗状況

1 未来構想・戦略プランの改定理由

改訂の背景と理由

- つくば市は、日本や世界を取り巻く社会情勢をはじめ、つくば市の地域特性、市民ニーズ、人口・財政の現状等を考慮し、時代の流れや変化を的確に捉え、中長期的視点を持って取り組むことで、諸課題を克服しながら次の世代に継承・発展させていく「持続可能都市」を目指します。
- そのため、21世紀半ばまでを見据えたまちづくりの基本理念と目指すまちの姿（ビジョン）を定めるとともに、中間目標として2030年の未来像を示し、その実現に向けた今後5年間の市の戦略・取組みを定めます。



2 未来構想・戦略プランの改定ポイントと内容

①改訂のポイントと構成

- 未来構想及び戦略プランの改定・策定は、過去のデータや実績などに基づき「あり得る未来」を予測する従来のフォアキャストに加え、「我々が目指す未来はこうあるべきだ」と未来のある時点に目標を設定し、そこから振返って今後すべきことを考えるバックキャストの手法の両方の手法を用いて策定します。
- 計画の構成は、まちづくりの基本理念や目指すまちの姿を示した「未来構想」と、その実現のための主要な施策等を示した「戦略プラン」から構成します。



I 未来構想・戦略プラン改定作業の進捗状況

②計画の期間

- 未来構想の計画期間は、21世紀半ばまでとします。21世紀半ばまでのマイルストーンとして、つくば市の生産年齢人口のピークと推計され、またSDGsの目標達成年とされている2030年の未来像を示し、約10年間の持続可能都市としての基盤づくりを目指します。
- 戦略プランの計画期間は、2020年度から2024年度までとします。

		改定 → 構想・計画期間				
未来構想 まちづくりの理念 未来像(マイルストーン)	2015年	2020年	2030年	2040年	2050年	
		まちづくりの理念				
		2030年の未来像		未来像の改定		
戦略プラン	2015年	2020年	2025年			
	5年	5年	5年	戦略プランの改定		



③新しいまちづくりの理念

- 21世紀半ばまでを見据えたまちづくりの基本理念として、「つながりを力に、未来をつくる」を掲げます。

<基本理念> つながりを力に未来をつくる

➤顔と顔が見える

多様なコミュニティの中で、顔と顔が見えるつながりをつくり、

➤挑戦を応援する

イノベーションを目指す挑戦者を応援し、挑戦を身近に感じながら次世代を担う子どもたちが成長することで、新たなまちの活力を生み出し、

➤未来をつくる

だれもが幸せを感じる未来をつくり、さらなる好循環を生み出すことで、まちを持続的に発展させていきます。



③新しいまちづくりの理念（目指すまちの姿）

- 目指すまちの姿（ビジョン）は、①誰もが取り残されず、自分らしく生きるまち（包摂都市）、②未来をつくる人が育つまち（人材都市）、③科学技術で人が豊かになるまち（科学技術都市）、④魅力を共に創るまち（共創都市）とます。

<目指すまちの姿>

I 誰もが取り残されず、自分らしく生きるまち

誰一人取り残されないよう、年齢、性別、国籍、個性などによらず、人間一人ひとりの安心が守られ、地域の隅々まで福祉がいきわたり、つくばに集うすべての人が自分らしく生き、自然豊かで幸せがあふれるまち。

II 未来をつくる人が育つまち

公正・公平や平和などの価値を大切にし、自分と他者、社会、自然との関係性を認識し、持続可能な地域と世界を構築するために自ら考え、働きかけ、変革を起こす人材が育つまち。

III 科学技術で人が豊かになるまち

科学技術の進歩が市民の日々の生活や地球環境に恩恵を与えるよう、限界を認識しながらも先駆的に活かし、人類共通の課題の解決に貢献するとともに社会にイノベーションを生み出すまち。

IV 魅力を共に創るまち

開かれた環境のもと、市民が中心となり、議会、地域団体、大学・研究機関、企業、行政などの顔と顔が見え、人と人がつながり、つくばならではの魅力を高め、世界に示すまち。



④2030年の未来像

- 目指すまちの姿（ビジョン）には、それぞれ2030年の未来像を具体的に掲げています。

I 誰もが取り残されず、 自分らしく生きるまち

- 様々なコミュニティによる支え合いの中で、充実した医療や介護、必要な目配りや支援などの頼れる福祉が地域に行き届いています。
- 一人ひとりが健康を大事にしながら、様々な場面で社会に参画し、生涯現役で活躍しています。
- 地域で連携しながら日頃からの防災・防犯の準備や教育を行うとともに、公共施設やインフラを長期的視野で維持管理することで、誰もが安全・安心な生活を送っています。
- 筑波山などの美しい景観や豊かで多様な生態系により、多くの人々が自然の恩恵を実感しながら自然を守り育てる意識を持って生活しています。

II 未来をつくる人が育つまち

- 充実した子育て環境とともに、創意工夫にあふれた様々な遊びの機会が街中にあふれ、親子と一緒に楽しみながら成長しています。
- 子どもたちは、自分の好きなことを見つけ、個性を伸ばしながら、未来を切り拓いていく力を育んでいます。
- 性別、国籍、年齢等を問わず、自身や他者の選択を尊重し合う多様性に寛容な文化が地域に根付いています。
- あらゆる分野のチャレンジを応援することで、チャレンジの連鎖が生まれるとともに、次の世代の成長を引き出しています。



④2030年の未来像（続き）

Ⅲ 科学技術で人が豊かになるまち

- 最先端の科学技術の知識・経験を有する才能が世界中から集まり、社会との対話を通じながら、新しい未来を切り拓く社会イノベーションを創出しています。
- 研究成果をいかした新産業の創出や地域企業等における科学技術の活用が進むとともに、社会や環境と調和しながら地元企業等が持続的に成長するモデルが地域に浸透しています。
- インフラの維持・更新等の社会課題解決や、誰もが簡単かつ自由に移動できるモビリティ等の新しい社会システムの導入など、科学技術で街全体が進化しながら誰もが豊かな生活を送っています。
- 市民一人ひとりが地球や環境に優しい選択を大切にし、自分ができる身近なことから取組むとともに、地域で最適な生産や消費、再資源化、再利用等を進めることで、「ごみ」という言葉がなくなっています。

Ⅳ 魅力を共に創るまち

- 市民一人ひとりが自分の街への愛着や誇りを持ち、社会・経済・環境の関係性を考えながら意見を交わし、自ら行動することで、市民が中心となったまちづくりが進んでいます。
- アイデアや意欲のある人材が集まり、つくばの資産と新たなセンスが融合することで、文化・芸術、スポーツ、観光、商工業、農業などの新しい魅力を創り出しています。
- 公園の中に街があるような緑豊かなゆとりある街並みや、つくばでしか体験できないコトが街中に散りばめられ、世界中から人を惹きつける魅力的なまちになっています。



⑤戦略プランの策定状況（策定の基本的な考え方）

次期戦略プランの策定は、つくば市は、社会・経済等の情勢変化に的確に対応し、諸課題を克服しながら次の世代に継承・発展させていく「持続可能都市」を目指します。

そのため、

- 経営資源が限られた中で戦略的・計画的に施策を展開する必要があります。市政の中でも特に重点的に取り組む施策に経営資源を配分し、組織横断的な取組を行います。
- 戦略プランでは、計画的に進行管理を行い、効果的・効率的に「つくば市未来構想」に掲げられた未来の都市像実現に向け取り組みます。
- 効果的・効率的に2030年の未来像の実現に向け取り組んでいきます。なお、戦略プランは、変化する社会情勢への対応と、進捗状況等の十分な検証を行いながら、見直しを行います。



⑤戦略プランの策定状況（基本施策と重点戦略）

- 戦略プランは、基本施策と重点戦略の2つからなり、基本施策を受けて、一連のストーリーとして重点戦略を掲げます。（現在、施策・重点戦略の内容について審議会にて審議中）
- 基本施策・重点戦略にKPIを設定し、今後それぞれに主要プロジェクトが設定されていく予定です。

基本施策

1. 現状とのギャップと施策の方向性

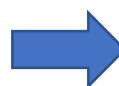
未来像と現状のギャップと、施策としての方向性を記載（能動的に）

2. 今後5年間で取組む重点戦略

未来像の実現に向けて、バックキャストイングで設定

3. 施策の目標

施策のあるべき状態＝指標の達成、となるように設定。KPI



重点戦略

1. 重点戦略の目的

基本施策を受けて、一連のストーリーとして重点戦略の目的を記載（能動的に）

2. 現状と課題（ボトルネック）

重点戦略の現状と課題や特に重点戦略上のボトルネック・障害となるものを記載

3. 重点戦略の指標

重点戦略のあるべき状態＝指標の達成、となるように、かつ、施策の指標に貢献できるものとして設定

4. 主要プロジェクト

重点戦略を実現するため、既存の事業及び新規・拡充事業について設定

5. 関連個別計画

関連する個別計画について記載

なお、戦略プランには記載しませんが、6年目以降に取組む重点戦略についても議論しています。新規・拡充事業について、提案会でのプレゼンに向け、関係課等との調整を行う予定です。



Ⅱ 第2期総合戦略としての戦略プラン

第2期総合戦略としての戦略プランの基本的な考え方

- つくば市が取組むまち・ひと・しごと創生として、①人口減少と地域経済縮小への歯止め、②東京圏への一極集中の是正、③「しごと」と「ひと」の好循環、それを支える「まち」の活性化の3つの基本的な考え方を戦略プランに引き継ぎます。
- また、つくば市の人口の将来展望である「人口ビジョン」を未来構想内で示し、つくば市独自の課題に対する処方せんとして、今後5ヶ年の「つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、総合戦略）」と「つくば市戦略プラン（以下、戦略プラン）」を一体的に策定することとします。



Ⅱ 第2期総合戦略としての戦略プラン

①第1期総合戦略との整合性

- 第1期総合戦略と次期戦略プランは、次期戦略プランにおける戦略の多くが第1期総合戦略の4つの柱をカバーしている状況（※）です。

対応例

第1期総合戦略の柱

- つくばの特性をいかした産業競争力の強化でしごとをつくる
- 結婚し、子どもを産み・育て、健康に生活できる環境をつくる
- 交流・居住環境の魅力を高め、つくばにひとを呼び・ひとを留める
- 公共交通網で結ばれた安全で安心な地域をつくる

《第1期総合戦略の2つ目の柱》

- 結婚し、子どもを産み・育て、健康に生活できる環境をつくる

【次期戦略プランの基本施策6】

子どもも親も楽しく育つ環境をつくるまち

- 重点戦略1：子どもを安心して産み育てられる環境整備
- 重点戦略2：多様なニーズに対応した保育環境の整備
- 重点戦略3：子どもも親も楽しめる遊べる場所の整備

※全体のカバー状況は別紙のとおり



②第2期の新たな視点に対する対応

- 第2期総合戦略における新たな視点についても、次期戦略プランと共通する事項も多くあります（※）。

対応例

第2期総合戦略の新たな視点

地方への人・資金の流れを強化する

新し時代の流れを力にする

人材を育て活かす

民間と共同する

誰もが活躍できる地域社会をつくる

地域経営の視点で取り組む

【次期戦略プランの基本施策10】

地元で頑張る組織や人が成長し続けるまち

重点戦略1：地域産業人材の確保・育成・定着の推進

重点戦略2：地元企業等の新たなチャレンジを支援する仕組みづくり

重点戦略3：地域モデル事業者の育成・中核企業の誘致

※全体のカバー状況は別紙のとおり



③ 「まち」「ひと」「しごと」好循環の実現

- 次期戦略プランは、持続可能都市を目指して考えられた2030年の未来像であり、まちづくりの理念に示すとおり、好循環を生み出し、持続的な発展を目指します。

「しごと」と「ひと」の好循環、それを支える「まち」の活性化

